

## 周りの理解と早期の支援が大切です

# 知っていますか？

# 「発達障害」について



「発達障害」という言葉をご存じですか。以前から、発達障害の人は身近にいましたが、最近社会全体での障がいに対する理解や支援が行なわれ、認知されるようになってきました。このページでは、発達障害についてお伝えします。

**問い合わせ** 健康づくり課発達支援係(プラザけやき内☎37-1136)

### ■発達障害ってなんだろう？

発達障害は、生まれつきの脳の機能障がいによって、得意なことと不得意なことの差が非常に大きかったり、他の人と物事の感じ方や考え方が違ったりすることです。見た目からはわかりにくく、親の育て方や本人の性格の問題ではないため、周りが障がいを理解することの難しさがあります。

### ■発達障害で起こる問題

発達障害の人は、悪気なく行動していても、周りから誤解や批判を受けることがあります。本人は、なぜ周りから批判などをされるのかわからないので困ってしまいます。そのような体験が積み重なると、自信や自尊心を無くしたり、人を信じる気持ちが育ちにくくなったりします。そして、気持ちが不安定になったり、自分の居場所を見出せなくなったりすることにより、不登校や引きこもり、うつ病など新たな生活上の問題を引き起こすことがあります。



### ■発達障害に対する理解を

発達障害の特性は広範囲にわたります。本人や家族、周りの人がその特性をよく理解し、家庭や学校、職場などで過ごしやすくなるように、その人に適した支援や工夫をすることができれば、本来持っているその人の良さを生かしていけるようになります。社会全体で障がいに対する理解や支援に取り組んでいくことが大切です。

### 「発達障害のそれぞれの特性」

- 広汎性発達障害(自閉症やアスペルガー症候群など)**  
コミュニケーション能力や対人・社会性の障がいがあり、物事に強いこだわりがあります。また、感覚が過敏(または鈍感)であったり、柔軟に思考することや変化に対処するのが難しかったりします。  
(具体例)
  - ・視線を合わせることや自分の気持ちを伝えることが苦手で、友達関係を築くことが難しい。
  - ・言葉の発達に遅れや偏りが見られる。
  - ・極端な偏食、いつも同じ服しか着ないなどの強いこだわりを持つ。
- 注意欠陥多動性障害(ADHD)**  
仕事や学習において、日常に支障が出るくらいの落ち着きの無さや不注意などが見られます。  
(具体例)
  - ・大切な予定や大事な物を忘れてしまうことが多い。
  - ・席についていられずに歩き回ってしまう。
- 学習障害(LD)**  
「読む」「書く」「計算する」などが、全体的な発達に比べて極端に苦手です。  
(具体例)
  - ・人よりも計算は得意だが、漢字が上手く書けない。
  - ・文章のどこを読んでいるか突然分からなくなる。

※上記の例は各症状の特性の一例です。他にもさまざまな特性があり、これらだけで判断されるものではありません。

## 困ったことや気になることがあれば、一人で悩まずに相談しましょう

早い時期から周囲からの支援や環境を整えることで安定した生活を送り、困難を軽減することが期待できます。相談ごとなどがありましたら、一人で悩まずに下記に連絡しましょう。

### ●子どもの相談先

- ・市健康づくり課(プラザけやき内☎37-1136)
- ・市学校教育課(中央公民館内☎73-1113)
- ・市家庭児童相談室(☎35-0955)
- ・東遠地区生活支援センター(☎35-2971)
- ・静岡県発達障害者支援センター(☎054-286-9038)

### ●大人の相談先

- ・市福祉課障がい者福祉係(プラザけやき内☎37-1252)
- ・東遠地区生活支援センター(☎35-2971)
- ・静岡県発達障害者支援センター(☎054-286-9038)